

発行：はつらつ編集局  
発行日：平成 24 年 9 月 1 日  
発行人：吉田 秀明  
編集人：はつらつ編集委員  
お問い合わせ：0135-23-3126

# はつらつ



Vol. 99



夏祭りしました！



8月10日（金）午後6時30分より約1時間、病院1階の待合ホールで夏祭りを開催しました。ヨーヨー釣り、輪投げ、くじ引き、写真展、スライドショー、そしてラストに大きな花火。短い時間ではありましたが、皆様のご協力のもと、大盛況に夏祭りを終えることができました。余市協会病院 患者サービス向上委員会

## 健康教室最終回



第6回目 9月15日（土）13:30より  
協会病院 1F ロビー事務室前

メタボリックシンドロームの予防のお話しや、手軽に出来る運動を、毎回テーマを変えて行ってきました。今回が最終回となります。



## 救急件数 (8月)

外来受診262件 うち入院28件  
救急車来院69件 うち入院18件

## 研修医リレーコラム51 「1ヵ月の研修を終えて」

斗南病院研修医2年目の早坂尚貴です。8月の1ヶ月間という短い間でしたが、吉田院長をはじめ横山先生、千葉先生、サシム先生、またコメディカルの方など多くの人たちにお世話になり、充実した地域研修をすることができました。本当にありがとうございました。

僕は1年目が大学病院、2年目が斗南病院とどちらも札幌での研修のため、地域医療ならではの（かどうかは分かりませんが）専門科の枠にとらわれずにどんな疾患でも診る医療は、刺激的で大変意義深いものでした。

研修中に最も印象的だったのは、余市協会病院で行われている医療が決して都市部で行われている医療に劣らない水準であったことです。またそういった気概をもって先輩 Dr.たちが奮闘している姿が印象的でした。

いわゆる地域医療という役割を担う病院が余市のようなであれば北海道の医療はもっと良くなるのだろうと感じました。しかしマンパワーの問題や医療機器、オーダリングシステムなどソフト・ハード面で患者さんにとって最良の医療を行っているかと言えばまだまだ改善の余地はあるとも感じました。逆にいえば、余市協会病院はこれからもっと良い病院になれるということだと思います。

吉田院長を始め、スタッフの方々のご健勝、ご活躍を心からお祈りしております。僕も余市での経験を活かして、皆さんに負けないよう今後も精一杯努力していきます。1ヶ月間ありがとうございました。

研修医 早坂尚貴